

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

男子Cリーグ戦

群馬県選抜

14

1	－	0
4	－	3
5	－	2
4	－	4

9

沖縄県選抜

PSO

太田 一誠

審判：

縄井 裕平

この試合のプレー集計

群馬県選抜	23	SH数	21	沖縄県選抜
	1	速攻数	0	
	10	ST・SB	9	
	9	SH・P誘発アシスト	3	
	31%	GK阻止率	13%	
5	EX反則数	7		

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

優勝候補の群馬の初戦(大垣)は思わぬ苦戦で、辛うじて引き分けに持ち込んだ形。本来のボールが広く回ってセンター勝負するスタイルからは程遠い状況。対する沖縄は、初戦(広島)で序盤こそ手こずったものの、元気のいい活発な水球を展開。この一戦ではどこまで群馬が本来のリズムを取り戻せるか、あるいはリズムに乗れない群馬を沖縄が追い詰めるか、興味ある対戦となった。

【1P】

群馬のリズムが本来の調子ではない。ボール出しがワンテンポ遅れてしまい、沖縄側に上手くディフェンスされている。そんな中、右サイドからボールを受けたリーダー④齋藤がゴール前にぼっかり空いた位置にいる⑦星にアシストパス。そこを難なく決めて群馬1-0沖縄で第1ピリオド終了。

【2P】

群馬がセンターで退水を誘発し、そこを③椎名が決めて2点目をマーク。沖縄のセンター攻撃を④齋藤が防いでカウンター攻撃に出て、右サイドにアシストパスして⑤深澤が決めて3点目。ようやく群馬にエンジンがかかってきた展開。しかし、沖縄がセンターで退水を誘発して④比嘉が1点を返す。群馬の攻守の要は④齋藤。④齋藤からのアシストパスでセンターが決めて4点目。対する沖縄も再開から⑨比嘉が決めて群馬4-2沖縄。その後、双方がセンター中心に点数を加え、群馬5-3沖縄で第2ピリオド終了。

【3P】

群馬に本来のリズムが出てきた。開始直後、センター②前田が決めるとようやくボールが回り始めた。そういうリズムから退水、ペナルティを誘発して4点を加点。対する沖縄もチャンスを作って2点を返したが、群馬が10-5沖縄とリードして第3ピリオド終了。

【4P】

沖縄のオフェンス反則からチャンスをつかんだ群馬がセンター⑥関口で追加点をあげるが、沖縄も再開から⑩佐藤が決めるなど、その後は取って取られて状態に。群馬は④齋藤がタイミングよく飛び出して沖縄ディフェンスを引き付けて、逆サイドの⑦星にアシストパスして点差を広げたが、沖縄も⑤仲島が連続得点して必死に追撃する。しかし、ここでタイムアップ。群馬14-9沖縄で群馬が勝利。

攻撃も守備もまだまだ本調子ではない群馬。ただ初戦では全く機能しなかったセンター②前田が6得点、攻守の要の④齋藤に本来の動きが戻りつつあり、復調の兆しが感じられた。対する沖縄は、ディフェンス力のある大垣が次戦。沖縄の攻撃力は高いことから、大垣戦は非常に好ゲームとなることが予想される。